



2月に行われるSSH生徒研究発表会に向けて、科学部の活動は忙しくなり、毎日その準備を進めています。今回は号外として、科学部の普段の活動について紹介します。

## 1. 酢豚にはなぜパイナップル？(豚肉と酵素の関係を調べる実験)

『酢豚になぜパイナップルを入れるのか』という疑問から、科学部で長期にわたって取り組んでいる実験です。酢豚にパイナップルを入れると酵素の働きにより豚肉は柔らかくなります。そこで、パイナップル以外でも酢豚として成立するのではないかと考え、キウイやレモンなどの果実で豚肉の柔らかさの関係を調べています。この実験は、SSH生徒研究発表会で発表する予定です。



## 2. 富田校舎キャンパス内の植生マップ作成

富田校舎は自然に囲まれたキャンパスです。今年度は3年に一度の富can祭があったので、科学部では富田校舎周辺の植生マップを作成し発表しました。本校の非常勤講師である川島先生の指導を受けながら、放課後富田校舎構内を散策し、さまざまな植物を発見、観察しました。



## 3. 菜園の管理

富田校舎には菜園があります。毎年、春に野菜の種をまいたり、苗を植えたりして、夏から秋にかけて収穫しています。今年度はミニトマトやナス、小玉スイカを収穫しました。今年度は甘みのある美味しいスイカを作ることができました。



## 4. 渡良瀬遊水地の生態観察

9月～12月にかけて渡良瀬遊水地で動植物の生態観察を行いました。湿地特有の珍しい植物を観察したり、多様な植物・虫・鳥などが密接に関わっていることで湿地が保たれているということを知ったりすることができました。環境保全について改めて考える良い機会となりました。



## 5. 子豚の解剖

生物実験の一環として、子豚の解剖を行いました。普段あまり見ることのない豚のホルマリンづけを見て、生徒たちは驚いたようでした。この実験を通して、豚の各臓器の構造や、生命の尊さなどを学ぶことができ、生徒たちにとっていい経験となったようでした。



## 6. 生物オリンピック&科学の甲子園などの各種コンテストへの参加

毎年生物オリンピック・科学の甲子園などのコンテストに参加しています。今年度も生物オリンピック、化学グランプリ、化学の甲子園などに参加しました。残念ながら良い成績は残せなかったのですが、高度な問題に挑戦することで、勉強する意欲も高まったようでした。今後良い成績を残せるようさらに努力していきたいと思えます。

